

国総研での最近の議論

1 . 国総研の使命

設立以来の国総研の使命は、

- ・ 住宅・社会資本のエンドユーザーである国民一人一人の満足度を高めるための、
デマンドサイドのニーズを如何に的確に把握するか
- ・ 技術政策立案に役立つ研究を実施する
国民の満足度を高めるためのシナリオライターとしての役割

2 . 国総研の政策課題

- ・ 国土交通省の使命を果たすための4本の柱
「持続可能な社会を支える美しい国土の形成」
「安全で安心な国土づくり」
「豊かでゆとりのある暮らしの実現」
「活力ある社会、個性ある地域の創造」
- ・ 仕事の進め方に関する支援として3本の柱
「住宅・社会資本整備マネジメント手法の向上」
「高度情報化社会に対応した国土づくり」
「国際社会への対応と貢献」

7本の柱、16の技術政策課題を掲げてスタート
現在、14のプロジェクト研究+n個の卵を準備中

3 . 最近の動き

議論を深めておくべきテーマ（基本的な課題）が浮上。

当面、以下の3テーマについて議論を始めている。

- ・ 時代に即した社会資本の整備・運営のあり方
～ユーザーオリエンテッドの評価軸～
- ・ 美しい国土の創造
- ・ 豊かでゆとりの感じられる生活環境・都市環境の形成

・時代に即した社会資本の整備・運営のあり方 ～ユーザーオリエンテッドの評価軸～

社会資本整備の基本的考え方

- ・フローからストックの議論へ
- ・社会資本に関する国民の共通認識の形成
(足りない、遅れている ?)

価値観が多様化・高度化する中で、エンドユーザーのニーズを的確に評価できる座標軸

- ・B / Cの適用性と補助的手法
- ・総合(複数の評価軸)評価による代替案の評価
- ・貨幣換算が難しい価値の評価(安全・安心、環境etc.)
- ・合意形成の手法

効率的に事業を進めていく上で必要となる座標軸

- ・総合的評価(間接的なコスト、環境負荷、維持管理、時間管理概念etc.)による契約手法(PFI、DB、VE etc.)
- ・新技術の速やかな導入
- ・施工時・完成時における品質管理手法

・美しい国土の創造

多様な側面、切り口

- ・残す(守る)美しさ(自然、歴史、文化)、創る美しさ、修復する美しさ(破壊された景観、電線の地中化etc.)
- ・視覚的な美しさ、清らかさ(環境的指標など)から転じた美しさ、品格を感じさせる美しさ
- ・歴史・文化の共有を感じさせる美しさ、誰にでも共感できる美しさ

価値観、概念

- ・我が国の国土の地形・地質的特徴、生物多様性(緑の)、人と自然のやりとりの中での均衡(里山)、人工美
- ・日本人(地域の人々)にとって(自慢の、誇れる)美しさ、来訪者にとっての(羨ましい、憧れる)美しさ

美しい国土とは?

- ・発散する傾向はあるが、「たとえば誇りを持てる国土」のように、目的に応じた糸(合意形成に必要な)を引き出すことが重要

・豊かでゆとりの感じられる生活環境・都市環境の形成

住宅・社会資本のエンドユーザーである国民一人一人の満足度（評価）を高めるため、生活者の視点に立って、生活環境・都市環境のあり方を追求することが重要

- ・豊かさが感じられない、豊かさ指標と感覚の乖離
- ・安全・安心が豊かさの基本
- ・豊かさの特徴がわかるような指標の提案と実証

住まいに求められること

- ・省エネ、低コスト、低環境負荷、バリアフリーなどの20世紀的課題
- ・持続性、自然共生等を目指した21世紀型住宅とは（例：長持ち、日本の自然条件）

都市に求められること

- ・都市サービス（ライフライン、医療・介護etc.）
- ・活力（にぎわい、交流、雇用機会etc.）
- ・持続可能なコンパクトな都市
- ・中心市街地の再生（Renovation：元気回復）
- ・経済＋ライフスタイルの変化に適応出来る市街地に

地域（地方）に求められること

- ・地域の個性（地方文化、歴史、他にはない特徴etc.）
個人の多様な嗜好、人生観に合わせた複数の指標の設定
- ・都市・地域の個性化、脱フルセット、コンビニ、金太郎飴